



# がんの治療前に、将来子どもをもつことについて考えてみませんか

がんの治療の進歩によって、多くの患者さんが病気を克服できるようになってきています。そして近年では、将来自分の子どもをもつ可能性を残すために、卵子や精子、受精卵を凍結保存する「妊よう性温存」という選択肢も加わってきました。

※妊よう性とは、「妊娠するための力」のことであり、女性にも男性にもかかわることです。

がん治療では、妊娠に関わる臓器にがんができた場合だけでなく、一見妊娠と関係のないような臓器にがんができた場合でも、抗がん剤や放射線治療などによる影響で、妊よう性が低下したり、失われたりすることがあります。

がんと診断されてすぐは、がん治療のことで頭がいっぱいかもしれませんが、ご家族やパートナーの方など大切な人と話し合ってみませんか。

まずは、がん治療担当医やがん相談支援センターにご相談ください。



## がん相談支援センター

病院名(所在地)	問い合わせ先	対応曜日・時間
栃木県立がんセンター [宇都宮市陽南4-9-13]	028-658-6484(直通) (がん相談支援センター)	月～金曜日 8:30～17:00
栃木県済生会宇都宮病院 [宇都宮市竹林町911-1]	028-626-5500(代表) (がん相談支援センターへ)	月～金曜日 8:30～17:30
自治医科大学附属病院 [下野市薬師寺3311-1]	0285-58-7107(直通) (がん相談支援センター)	月～金曜日 8:30～17:15
獨協医科大学病院 [壬生町北小林880]	0282-86-1111(代表) (がん相談支援センターへ)	月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
上都賀総合病院 [鹿沼市下田町1-1033]	0289-64-2161(代表) (がん相談支援センターへ)	月～金曜日 9:00～16:00
那須赤十字病院 [大田原市中田原1081-4]	080-7576-2655(直通) (がん相談支援センター)	月～金曜日 9:30～16:30
足利赤十字病院 [足利市五十部町284-1]	0284-20-1307(直通) (がん相談支援センター)	月～金曜日 8:45～12:00 13:00～17:00
芳賀赤十字病院 [真岡市中郷271]	0285-82-2195(代表) (がん相談支援センターへ)	月～金曜日 9:00～16:00

※1 どなたでもご利用いただけます。ご相談は無料で、秘密は厳守します。

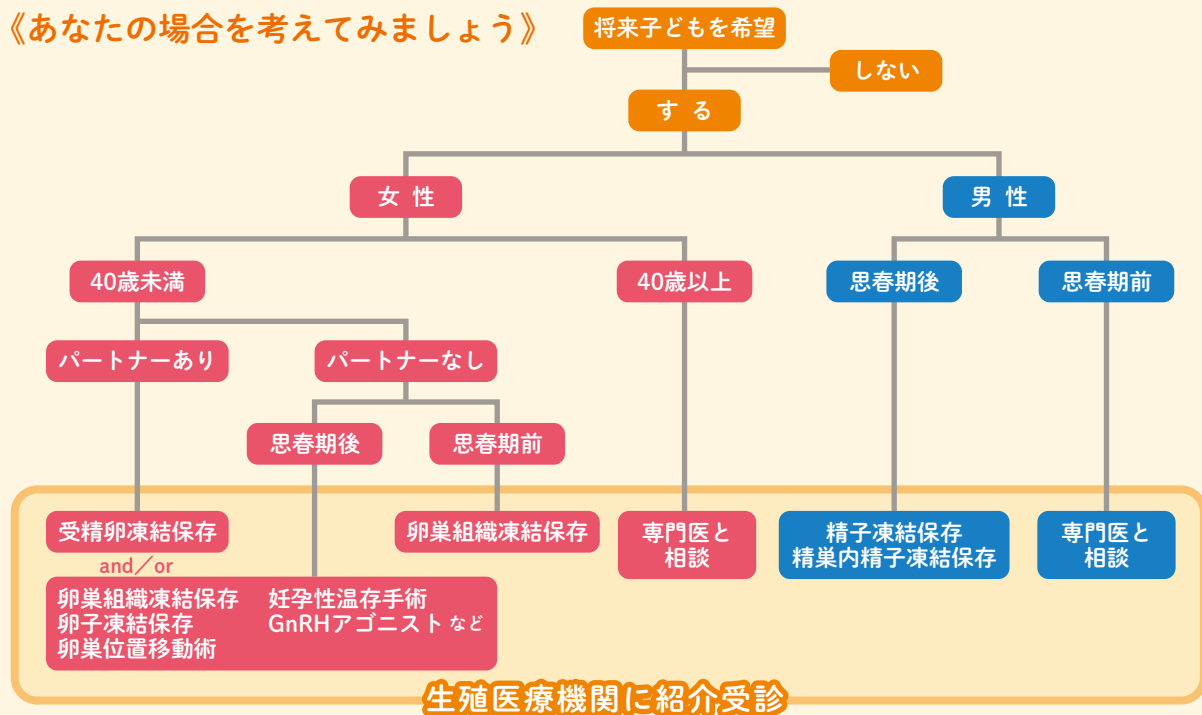
※2 ご相談の際は、「妊よう性温存に関する相談」とお伝えください。

※3 がん相談支援センターは、厚生労働大臣の指定を受けた全国のがん診療連携拠点病院等にある相談窓口です。がん専門相談員が、さまざまな相談に対応しています。

# 妊よう性温存を希望される方へ

妊よう性温存のために、適切ながん治療を行わなかったり、がん治療を遅らせたりすることは望ましくありません。妊よう性温存療法は、がん治療を開始する前に、がん治療医に気持ちを伝え相談をすることが大切です。

《あなたの場合を考えてみましょう》



(OF-Net Shigaより引用)



## 妊娠の可能性を残す方法

女性の  
場合

治療で影響を受ける前に、あらかじめ卵子や卵巣を凍結する方法です。

卵子凍結・胚(受精卵)凍結・卵巣組織凍結の3とおりがあります。



## 子どもを持つ可能性を残す方法

男性の  
場合

がん治療前の精子を凍結しておく、精子凍結があります。精液を採取することが困難な場合や精液の中に精子が見つからない場合には、顕微鏡を見ながら手術的に精巣から精子を取り出す(精巣内精子採取法)こともあります。

## 妊よう性温存にかかる費用

妊よう性温存にかかる費用は、**全額自己負担**になります。費用は、受診される医療機関によっても異なります。また、以下の費用は、おおよその目安の金額です。

カウンセリング料	数千円～1万円前後
卵子凍結保存	約20万～40万円
胚(受精卵)凍結保存	約30万～50万円
卵巣組織凍結保存	約60万～80万円
精子凍結保存	約5万円
凍結保存をした場合の年間保管料	約2万～6万円

(がん治療を開始するにあたって 日本がん・生殖医療学会より引用)



あなたが病気になってもあなたらしい人生を送っていただくために私たちは応援し、お役に立ちたいと思っています。

リーフレットに関するお問い合わせ先  
 栃木県がん・生殖医療ネットワーク事務局  
 栃木県立がんセンターがん相談支援センター  
 TEL 028-658-6484